

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年3月14日 VOL. 55 - 1

県内初！ 藤枝PK(プロフェッショナルカイゴ)選手権大会開催

平成30年3月3日(土) HOTEL OLEを会場に、**藤枝PK選手権大会実行委員会(委員長：医療法人志太会理事長：三輪 誠 氏)主催**の大会に、市内外の介護関係者や一般市民、高校生・短大生など250人超が参加しました。この大会は、介護・福祉事業に携わる介護職員のプロフェッショナルな姿を介護技能コンテスト形式で市民に披露する事により『**介護とは何か**』を考える動機と『**介護の魅力と奥深さ**』を発信することを開催目的にしています。

開会式



超高齢化社会の到来に対し、介護人材の育成・確保は必要不可欠です。介護に携わる若い世代に、北村市長より日頃の労いと激励のエールが送られました。



審査員には県立短大の鈴木准教授・県介護福祉士会及川会長をはじめ、短大生や清流館高校生も携わりました。教育内容が現場で言語化・行動化されている状況を体験しながら厳しく温かく審査してくれました。

チーム応援



コンテストは「**ピース部門**」「**ドリーム部門**」の2部門で構成。市内の7つの特養・5つの老健を運営する10の法人が各施設から選手を出し、各部門5チームによる施設対抗戦で実施しました。

コンテストのために、改めて認知症についての学び直しや、態度・行動・コミュニケーション技術の再検討など、ここに至るまでが、介護の魅力と奥深さを実感する過程になり、施設の団結力を表現する場にもなりました。見学した市民から「施設訪問をしなくても、雰囲気を感じることができた」、介護福祉士養成課程の学生は「学校で先生が言っていることがわかった」などの感想がありました。小さい子どもを連れての家族応援もあり、日頃見ることの無い親の仕事を知る機会にもなりました。

実技(コンテスト)



最優秀賞 「ピース部門」 フォレストア藤枝(老健) 「ドリーム部門」 愛華の郷(特養)



大観衆が見守る中、三輪大会実行委員長から表彰状が、藤枝市長賞としてカップ・盾・メダルが授与されました。選手からは共に働く仲間や利用者さんに対する感謝の気持ちとともに何よりも「**介護が大好き**」という感想が涙と共に伝えられました。



健康福祉部 地域包括ケア推進課

TEL 054-643-3225 E-mail chiikicare@city.fujieda.lg.jp

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年3月14日 VOL. 55-2

藤枝PK(プロフェッショナルカイゴ)選手権大会 前夜祭も大いに盛り上がる

平成30年3月2日(金) HOTELE OLEを会場に、藤枝PK選手権大会の前夜祭に多くの来賓や介護施設関係者、出場選手、協賛企業など約90人が出席し、大会本番の健闘と懇親を深めました。

三輪実行委員長より



「介護」と聞くと、仕事が大変そう、給料が少ない、お年寄りの笑顔に癒される、やりがいと魅力ある仕事など、世間の方が抱く介護職のイメージは、残念ながらプラス面よりマイナス面が上回っていることは否定できない事実です。このような介護職に対するマイナスイメージを拭き去り、介護の素晴らしさを伝えるために、市内の特養と老健の介護職員による“プロの技”を披露するコンテストを開催することにしました。

ピョンチャンオリンピックでは「強く・高く・遅しく」ですが、介護は「弱く・より目線を低く、優しく」が基本です。各施設が切磋琢磨して、介護の質をあげていきましょう。

栗田副市長より



メダルラッシュに沸いたピョンチャンオリンピックの女子カーリングやチームパシュートでは、チーム力が話題となっております。本市のプロフェッショナルな介護施設代表選手の皆さまも、個人技術のみならず、各チームでの研究と練習を重ねての出場と聞いております。期待しています。頑張ってください。

懇談会・出場順抽選・選手の決意表明

